

### Q3. ポピー Kids English では「フォニックス」を学習しませんが、大丈夫でしょうか？



**A.** 低学齢のお子さんは、フォニックスを学ぶよりも、まずアルファベットを A から Z まで順番に言えるようになることが大切です。フォニックスとは読み書きのために学ぶ規則のことですが、小学英語では、高学年でもつづりを覚えて書いたり初めて見た単語を読んだりしないのです。今の段階ではフォニックスの学習を急がず、まずは基礎固めをしっかりと行いましょう。



point

1

#### フォニックスとは？

「フォニックス」とは、英語圏の子どもたちに読み書きを教えるために開発された、文字と発音の関係を学習する方法です。例えば A (a) の文字。名前は「エイ」ですね。apron, cake などは「エイ」と読みます。しかし、apple, bag の a の読みかたは「ア」に変わります。P (p) の名前は「ピー」ですが、単語の中では present, jump など、「プ」と読みます。しかし elephant のように p と h がくっつくと f 「フ」の音に変わるのであるのです。このような規則を学ぶのがフォニックスです。

point

2

#### 小学英語はどうなっている？

少し前までは読み書き重視の英語教育でしたから、こういった規則を重点的に学んだ記憶のあるかたも多いかもしれませんが。しかし今の小学英語では、「読む・書く」よりも「聞く・話す」ことに重点が置かれています。文字についてはまず3年生でアルファベットの大文字、次に4年生で小文字を学びます。そして5年生で初めて音声で慣れ親しんだ単語や文を読んだり書き写したりします。「読む・書く」については、4年生までに、アルファベットの大文字・小文字がきちんと分かるということが重要です。